

佳作 (子どもの部)

「メガネをかけたら」

荒川区立第一日暮里小学校四年

横尾 朋香

やなぎ田先生、こんにちは。私は、『メガネをかけたら』という本を読みました。

私なぜこの本を選んだかというところ、私もメガネをかけているから「メガネをかけたら」というタイトルで何かがおこるのかなと思ったからです。

私がこの本を読んで心にのこったことは二つあります。一つはさいごに先生たちもメガネをかけてくれていたことです。なぜなら、主人公だけがメガネをかけてからかわれたりしないようにしてい

る先生たちのやさしさがすてきだと思ったからです。もう一つは主人公が「メガネをかけたら空がとべるならかける」などの理由をつけてかけなくてもいいようにしていることです。なぜなら私はメガネをかけることがいやじゃなかったから、主人公がいろんな理由を考えていたので、それがおもしろいと思ったからです。

本を読んだ後、私の生活をふり返って大切だと思ったことは、だれかがきゆうにみためをかえてもからかわないことです。なぜならからかわれたらいやなきもちになるからです。

登場人物から感じたことは、だれかがいやだと思ふことをまえおきな気持ちになれるようになってつだいをしようと思いました。

先生もぜひ読んでみてください。